

# 子どもにも「愛の」声を。

## ～ 補導員さんの思い～

時代は変わり、インターネットや携帯電話が普及。子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。そんな中、敦賀市には、昔も今も変わらず、子どもの非行防止を願って活動する「補導員さん」がいます。  
今回は、現場に向かい、愛の声を掛け続ける「補導員さん」に、活動内容や活動への思いを伺いました。



お話を伺ったのは、敦賀市補導員連絡協議会副会長の、橋本繁則さん(右)と橋野世津子さん

### 普段どんな活動を しているのですか？

**橋本** 市内の量販店やゲームセンター、書店などを中心に巡回し、気がかりな子どもたちへの声掛けをしています。市内に百人の補導員があり、夕方と夜間の二班に分かれ活動しています。

### 最近の補導の傾向を 教えてください。

**橋野** 私は二十数年前から補導活動をしていますが、昔と比べ、

件数、内容など、そんなに変わった印象はありません。ただ、最近の子は、少し大人しいなと思います。昔は、髪を染め言葉遣いも荒々しい、ある意味元気な子がいました。今の子は声を掛けると、たいてい「分かりました」と言っていて素直に帰りますね。

**橋本** 橋野さんの言う通り、大人しい子が多いかもしれません。最近は、パソコンや携帯があり、ネット上で遊べますからね。昔のように反抗の矛先を外に向けて、家の中で消化しているの



橋野さん

しょう。出会い系サイトなどの犯罪につながっていない心配ですね。

### 子どもたちにはどんな接し方を心掛けていますか？

**橋本** 高圧的な態度をとらず、子どもの目線に立ってやさしく声をかけています。ほとんどの子は、何かしら言葉を返してくれますね。初対面の子に話しかけるのは、最初は緊張しましたが、今では大分慣れました。

**橋野** 私も、子どもの目線に立つことを一番に心がけています。これは昔も今も同じです。どんな子にも「あんた何してるの」と気さくに声を掛けますし、子どもも喜んで話してくれます。きつと話を聞いてくれる人を待っているのじゃないかな。

### 非行に走る子にはどんな傾向がありますか？

よく会う子たちとは顔なじみになり、「おばちゃん、就職決まったよ。」などと、うれしい話も聞いたりします。そんなときに、補導員をしていてよかったなっと思っています。

子どもが地域のおじいさん、おばあさんと触れ合う機会が減っていますから。安全対策以上に効果は大きいと思います。

**橋野** 心の中に寂しさを抱えている子が多いです。家で話を聞いてくれないとか、両親の仲が悪いとか、家庭での問題が非行につながるケースが多いです。私たちが話していると、よく家庭の愚痴を聞きますから。親御さんには、今一度子どものご様子を見てあげてほしいですね。まずは、一緒にご飯を食べるのから見直してほしいです。

### 非行を防ぐために 地域でどんなことが できますか？

**橋本** 積極的に子どもと接していくことが大切だと思います。今、各学校で活動している「見守り隊」は、すごく良いですね。

### 今後の目標は？

**2人** 地道に活動を続けていくことが目標です。子どもとの出会いを楽しみに、そして彼らが変わっていくのを楽しみに、ずっと「愛の」声を掛け続けたいです。



しつけ・非行・進路・・・  
小さなことでもご相談ください。

### 青少年・家庭教育 悩み相談室

少年愛護センターでは、子どもの悩み、親御さんの悩みに関する相談を受け付けています。一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

#### ▶連絡方法

フリーダイヤル  
0120 - 090523

メール  
k-sodan@ton21.ne.jp

【火曜～土曜 9:00～16:00】

平成二十年度

# 市長への提案メール

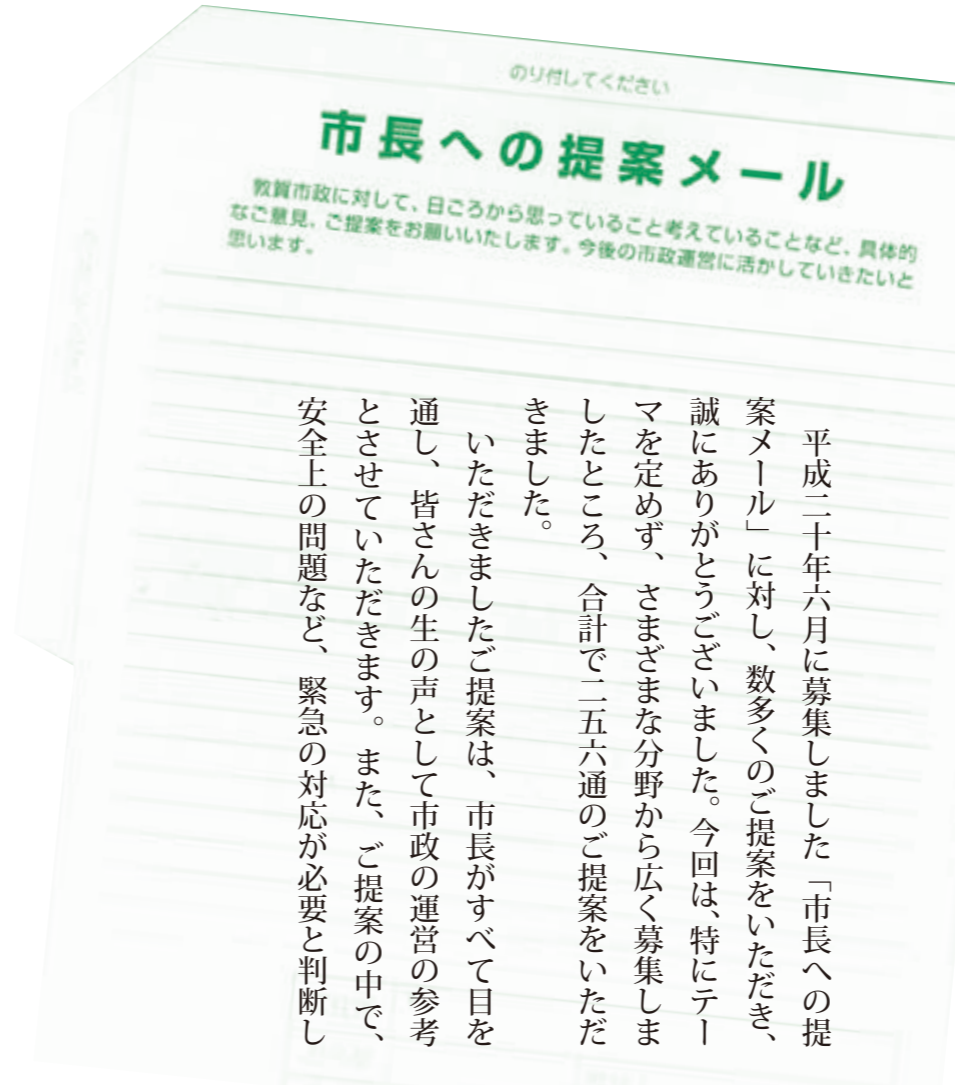
## たくさんのご提案

## ありがとうございます。ありがとうございました。

たものにつきましたは、個別に対応を行いました。

今後も、皆さんの声を参考にしていきたいながら、市民の皆さんが住みやすいまちになるよう取り組んでいきたいと考えておりますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

ここでは、今回いただいたご提案から、一部をご紹介します。



平成二十年六月に募集しました「市長への提案メール」に対し、数多くのご提案をいただき、誠にありがとうございました。今回は、特にテーマを定めず、さまざまな分野から広く募集しましたところ、合計で二五六通のご提案をいただきました。

### 市民の声を聞いてほしい

**A** 市長への提案メールやアクセス21などで市民の皆さんからいただく意見やご提案は、すべて市長が読むとともに各担当課も確認し、市政の参考とさせていただきます。しかし、いただいたご意見やご提案すべてが実現できるのではなく、現在の市政の状況や財政状況を判断した上で検討しています。

### 道路の街路樹の整備を進めてほしい

**A** 当市は、豪雪地帯でもあり、落葉樹を多く植栽しています。樹木は年々成長し、管理本数二、三、四本のうち、六〇センチメートル以上の幹周りの樹木は一、二九二本と半数以上となっています。現在、街路樹の剪定は三年ごとに年間約七五〇本を行っています。各町内からの剪定要望と害虫発生等による苦情など

### 映画のロケなどで市の風景を売り込むのはどうか

があり、来年度から剪定のサイクルを早め、二年に一度剪定が行えるようにしたいと計画をしているところです。

**A** 映画などのロケーションを誘致し、撮影協力を行う機関を「フィルムコミッション」と言います。このフィルムコミッションは、すでに日本各地で設立され、地域の経済・観光振興、文化振興に大きな効果を上げています。当市でも、現在このフィルムコミッションを設立するため、さまざまな準備を進めています。

当市の持つ自然と歴史は、自信を持って全国に誇れるものです。フィルムコミッションを通じて当市の魅力を広くPRし、より多くの方々を訪れていただけるよう取組んでいきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 皆様のご意見は引き続き募集しています

市では、市民の皆さんからのご提案やご意見などをお聞きするため、市民提案箱「アクセス21」を公民館や公共施設に13個設置しています。また、ファックス(22-8174)や敦賀市ホームページ(<http://www.city.tsuruga.lg.jp>)からもアクセス21がご利用できます。【※ 公序良俗に反するものや誹謗、中傷は除きます。】

